

— お手入れ行事 —



第44回
全国育樹祭 北海道
2021

つなごう未来へ この木 この森 この緑

お手入れ行事

令和3年(2021年)10月9日、秋篠宮皇嗣同妃両殿下に宮邸からオンラインで御臨席いただく中、苫小牧市の「苫東・和みの森」で開催したお手入れ行事では、北海道における全国緑化行事の歴史を紹介するパネルと全国植樹祭で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木の生育状況を御覧いただくとともに、参加者代表による記念育樹(枝打ち・施肥)を行いました。

当日は天候に恵まれ、世代を越えて継続して森を守り育てていくことの大切さを伝える象徴的な行事となりました。



オンライン御臨席



パネル展示御覧

苫小牧緑の少年団「苫東・和みの森っこクラブ」が、秋篠宮皇嗣同妃両殿下に第12回全国植樹祭(昭和36年)、第11回全国育樹祭(昭和62年)、第58回全国植樹祭(平成19年)の様子とその後の活動等を3枚のパネルで説明しました。



1枚目 60年が経過し、20メートルほどの立派な木に成長



2枚目 当時の天皇皇后両陛下がアカエゾマツやエゾヤマザクラなどの苗木を3本ずつお手植え



3枚目 その後、ボランティア団体などが育樹を行い、子どもたちや市民などが集う、憩いの場として活用

■第58回全国植樹祭お手植え樹木の生育状況説明

北海道立北の森づくり専門学院生が、秋篠宮皇嗣同妃両殿下に平成19年の第58回全国植樹祭で当時の天皇皇后両陛下がお手植えされた6本の樹木の生育状況を説明しました。



天皇陛下お手植え樹木(3本)



皇后陛下お手植え樹木(3本)

■代表者による記念育樹(枝打ち)

参加者を代表し、山東昭子大会会長(参議院議長)、濱田純一国土緑化推進機構理事長、鈴木直道北海道知事が、第58回全国植樹祭で参加者が植樹したアカエゾマツの枝打ちを行いました。



■代表者による記念育樹(施肥)

大会会長をはじめ、参加者代表の12名が第58回全国植樹祭で当時の天皇皇后両陛下がお手植えされた6本の樹木に施肥を行いました。



■お手入れ道具等

昭和36年の第12回全国植樹祭で参加者が植樹したアカエゾマツを使用し、手鋸、肥料入れ、説明パネル台等を製作しました。



記念写真

記念育樹の介添えを行った松恵小学校緑の少年団との記念写真



大会会長(参議院議長) 山東 昭子



農林水産大臣 金子 原二郎



苫小牧市長 岩倉 博文



苫小牧市議会議員 板谷 良久



林野庁長官 天羽 隆



(公社)国土緑化推進機構理事長 濱田 純一



大分県知事 広瀬 勝貞



大分県議会議員 御手洗 吉生



北海道知事 鈴木 直道



北海道議会議員 小畑 保則



衆議院議員 堀井 学



(公社)北海道森と緑の会理事長 山谷 吉宏

一般参加者による記念育樹

第58回全国植樹祭で建立した「お野立所」周辺の樹木に施肥を行っていただきました。



お手入れ行事を支えていただいた皆さん

■展示パネル説明



苫小牧緑の少年団「苫東・和みの森っこクラブ」



■代表者記念育樹介添え



松恵小学校緑の少年団

■お手植え樹木生育状況説明・記念育樹介添え



北海道立北の森づくり専門学院

■運営協力(記念育樹介添え、車両誘導、会場管理)



全国植樹祭記念の森づくりボランティア(8団体)

- 胆振森林サポーターの会
- 東胆振森づくり協同組合
- だろ亀さん記念・22世紀の森づくりの会
- 北海道森林土木建設業協会苫小牧支部
- 日本緑化中村株式会社
- 森友会
- NPO法人ウッドネット北海道苫小牧支部
- 芽森隊

■会場設営協力(プランター設置、記念育樹事前準備等)



北海道岩見沢農業高等学校

■司会進行



依田 英将(北海道テレビ放送アナウンサー)

■飾花の育成

会場を彩る花々は、苫小牧市内の小学校の児童の皆さんが育てました。



●協力いただいた学校

明野小学校、泉野小学校、糸井小学校、植苗小中学校、
ウトナイ小学校、清水小学校、澄川小学校、大成小学校、
拓進小学校、拓勇小学校、樽前小学校、苫小牧西小学校、
苫小牧東小学校、豊川小学校、錦岡小学校、日新小学校、
沼ノ端小学校、北星小学校、北光小学校、美園小学校、
緑小学校、勇払小学校、若草小学校

■肥料づくり

記念育樹(施肥)で使用した「肥料」は、お手入れ行事会場(苫東・和みの森)で行われている「月に一度は森づくり!」に参加した子どもたちが袋詰めを行いました。



肥料は森づくり活動で活躍している馬のふんと枯れ葉を混ぜて熟成させたもので、袋は自然に還る不織布を使用しました。